

「東日本大震災」から一年……。まだまだ遅々として進まない「原発問題」・「瓦礫処理」・「除染問題」etc……。 「風評被害」というアゲインストの風にも負けず、真摯な態度で逆境に立ち向かう被災された方々へ、途切れることのない「支援の心」が必要不可欠であることを痛感している今日この頃です。

さて、会報4月号、如何でしたでしょうか？。

【表紙：「川の流れと桜」 by 原信一郎先生】～美しい写真をご提供頂き有難うございました。間違いなく流れ着いた故郷でも美しい花を咲かせることができるものと確信しております！。

【報告：宮城信雄会長再選、新執行部誕生！】～宮城会長以下、新執行部の理事就任の挨拶が掲載されております。キーワードは、①「信頼される医師会」～「地域に根ざした活力ある医師会」～「地域医療の充実・発展！」、②「おきなわクリニカルシミュレーションセンターの開設！」～「重粒子線治療関連の人材育成・人材交流」、③「沖縄県保健医療計画」～「県民の健康に寄与できるアウトカムを！」、④「沖縄21世紀ビジョン」～「地域医療連携体制総合調整事業」、⑤「医師会の危機管理体制・医事紛争処理体制」～「全国共同行動！」、⑥「看護師不足・看護専門教師不足！」、⑦「自然災害・感染症流行などに対する医師会の結束力！」、⑧「県医師会文書映像データ管理システム」、⑨「『オール沖縄』による研修病院の勧誘説明会～赤瓦プロジェクト！」、⑩「県立病院の経営に関する意識の変化！」、⑪「ミニマムユニットである各地区医師会の班会議の活性化！」、⑫「特定健診集合契約の継続！」～「#8000」～「かりゆし調白衣」、⑬「医食農動同源で健康長寿を再生！」、⑭「保険診療の適切な理解と運用！」、⑮「本来の診療活動の環境を守る！」、⑯「一般社団法人へ移行！～監事も理事会出席が必要！」、⑰「在宅医療・在宅介護・緩和ケアのニーズの増大！」etc……。キーワードだけでも、医師会の役

割の幅広さが感じられることと思います。その他、九医連各種協議会から相当量の情報が報告されております。印象記を含め、是非ご一読ください。

【報告：「女性医師がいきいきと働くためには」 by 銘苺桂子先生・外間雪野先生】～女性医師部会のプチフォーラムのご報告がございました。参加された先生方の熱い熱い想いが十分に伝わりました。

【懇談会：「看とりについて考える県民との懇談会」 by 玉井修先生】～平成24年1月22日（日）沖縄県医師会館にて開催されました。ポイントは、①「病院で最後を迎える人は全体の約8割！」、②「家族が『最後まで家で看る！』と覚悟すること」、③「在宅療養をサポートするスタッフとチームになって介護すること！」、④「DNARを介護する人全員で意思統一しておくこと！」、⑤「グリーフケアとは？＝死別により悲嘆する家族をサポートするケア！（グリーフ＝心の痛み！）」、⑥「救急搬送を行う救急隊のやるせない気持ち！～救急車を呼ぶと救命処置を施しながら搬送しなければならない！」、⑦「救急救命センターに搬送されれば治癒を目指した医療を行わなければならない！」、⑧「ベッドが占有され、次の救急車の受け入れが困難になる！」、⑨「家族で話そう！最後の迎え方！」……。 「県民との懇談会」当日は、立ち見の方が出るほどの大盛況で、「看とり」というかなり重いテーマに対し県民の関心の高さを再確認することができました。

【「脳神経外科分科会活動について」 by 石内勝吾先生】～「何でもこなす日本の脳外科医！」という話。「技術の習得も大切だが学問はもっと大切！」という話。「若い世代が新しい考えや技術を世界に発信して欲しい！」というメッセージが心に響きました。また、「第100回：四金会」は本当に素晴らしい数字だと思います。【「透析医会の紹介」 by 徳山清之先生】～沖縄県の透析患者数3,886人～100万人対約3,000

人（全国2,153人）・・・との事。メタボリック症候群の多い沖縄県において、透析患者の増加にブレーキをかけるためには各専門医との連携が重要であることを痛感いたしました。

【生涯教育：「悪性脳腫瘍に対するナビゲーション下画像誘導手術」by 石内勝吾先生】～発展著しい「画像誘導手術」の現状をご提示いただきました。「蛍光診断で『組織特異性』は高いが、『組織感受性』に問題あり！」・・・との事。本当にアカデミックな内容のご投稿有難うございました。

【プライマリ・ケア：「薬剤の妊娠への影響」by 佐久本薫先生】～「薬剤の催奇形性・胎児毒性」、「FDA カテゴリー分類」、「インフルエンザワクチン・抗ウイルス薬」・・・。特に、「希望している妊婦さんにはワクチン接種を推奨している！」という話はとても参考になりました。

【「未成年者飲酒防止強調月間」by 村上優先生・福田貴博先生】～「未成年の飲酒補導～全国の5.2倍！」、「飲酒運転・健康被害」、「Happyプログラム」・・・。とてもウチアタイしながら、しっかり読ませて頂きました。心

の底から、反省、反省・・・。

【「世界保健デー」by 国吉英樹先生】～今年のテーマは「Aging and Health：高齢化と健康」・・・。健康長寿県の復活が大命題・大難題と思われます。（*最前列・真ん中の集合写真の話・・・納得です！）

【随筆：「息子との湯布院旅行」by 玉井修先生】～切ない父親の気持ちを書き綴って頂きました。ナダウルウル、ナダソウソウ・・・。小生的にも「父親失格！」だと、猛烈に反省いたしました。「『引き出し』が多くなった！『引き出し』が広がった！by 唐沢敏明氏」。順応性が芽生えた息子さんに「あっぱれ！」を差し上げましょう！。

さてさて、「ねじれ国会」の下、今なお混迷を続ける永田町ですが、多くの無理難題に対し平成維新の「船中八策」が通用するか否か・・・。冷静な「俯瞰力＝断捨離する力」を携えて見守って参りましょう。

今年度も宜しく願い申し上げます。

広報副担当理事 照屋 勉

